

二国間交流事業 セミナー報告書

平成 21 年 4 月 1 日

独立行政法人日本学術振興会理事長 殿

セミナー代表者所属・部局 広島大学大学院国際協力研究科

職・氏名 准教授・張 峻屹
(ふりがな) ちょう しゅんきつ

1. 事業名 相手国名 (オランダ) とのセミナー (振興会対応機関: NWO)
2. セミナー名 女性の社会進出を支援する都市政策の立案のための
世帯生活行動に関する日蘭比較研究
3. 期 間 平成 21 年 3 月 17 日 ~ 平成 21 年 3 月 20 日 (4 日間)
4. 開催地
(都市名と会場名) Conference Centre Evoluon, Noord Brabantlaan 1a, 5652 LA Eindhoven
5. 参加者数
(代表者を含む)

日本側	<u>13</u> 名	} 計 <u>36</u> 名
相手国側	<u>22</u> 名	
その他の国	<u>1</u> 名	

6. セミナー参加者

(1) 日本側参加者（振興会により経費を負担された参加者に*印を付けてください。）

氏名	所属・部局・職名	専門
張 峻屹	広島大学大学院国際協力研究科・准教授	交通工学
塚井 誠人*	広島大学大学院工学研究科・准教授	地域科学
嶋本 寛	広島大学大学院国際協力研究科・助教	交通計画
桑野 将司*	広島大学大学院工学研究科・助教	交通工学
佐々木邦明*	山梨大学大学院医学工学総合研究部・准教授	交通計画
山本 俊行*	名古屋大学大学院工学研究科・准教授	社会基盤工学
加藤 浩徳*	東京大学大学院工学研究科・准教授	都市工学
大森 宣暁*	東京大学大学院工学研究科・講師	都市工学
力石 真*	広島大学大学院国際協力研究科博士後期課程	交通計画
佐藤 哲彰*	総務省統計局統計調査部労働人口統計室統計専門官	労働経済学
Petr Senk*	京都大学大学院工学研究科博士課程	都市社会工学
Xu LiLi*	広島大学大学院国際協力研究科博士前期課程	交通計画
Du Heng	広島大学大学院国際協力研究科	交通工学

(2) 相手国側セミナー代表者

所属・職名・氏名 アインホーヘン工科大学建築計画学部・教授・H. J. P Timmermans

(3) 相手国参加者（代表者の氏名の前に○印を付してください。また、振興会により経費を負担された参加者に

*印を付けてください。）

氏 名	所 属・職 名	専 門
○H. J. P TIMMERMANS	Prof., Eindhoven Univ. of Technology	都市計画
Caspar CHORUS	Assistant Prof., Delft Univ. of Technology	交通政策
Eric MOLIN	Associate Prof., Delft Univ. of Technology	交通政策
Theo ARENTZE	Associate Prof., Eindhoven Univ. of Tech.	都市計画
Aloys BORGERS	Associate Prof., Eindhoven Univ. of Tech.	都市計画
Astrid KEMPERMAN	Assistant Prof., Eindhoven Univ. of Tech.	観光学
Peter van der WAERDEN	Research Associate, Eindhoven Univ. of Tech.	交通工学
Feng TAO	Postdoc, Dr. Eng. Eindhoven Univ. of Tech.	交通工学
Renni ANGGRAINI	PhD Candidate, Eindhoven Univ. of Tech.	都市計画
Pauline van den BERG	PhD Candidate, Eindhoven Univ. of Tech.	都市計画
Oliver HORENI	PhD Candidate, Eindhoven Univ. of Tech.	都市計画
Linda NIJLAND	PhD Candidate, Eindhoven Univ. of Tech.	都市計画
Gustavo MANZATO	PhD Candidate, Eindhoven Univ. of Tech.	都市計画
Anastasia MOISEEVA	PhD Candidate, Eindhoven Univ. of Tech.	都市計画
Gamze DANE	PhD Candidate, Eindhoven Univ. of Tech.	都市計画
Anna GRIGOLON	PhD Candidate, Eindhoven Univ. of Tech.	都市計画
Fariya SHARMEEN	PhD Candidate, Eindhoven Univ. of Tech.	都市計画
Martin DIJST	Prof., Utrecht University	地理学
Dick ETTEMA	Associate Prof., Utrecht University	地理学
Joyce SOO	PhD Candidate, Utrecht University	地理学
Christa HUBERS	PhD Candidate, Utrecht University	地理学
Abu Toasin Md. Oakil	PhD Candidate, Utrecht University	

(4) 日本または相手国以外の国の参加者

氏 名	所属・職名（国名）	専 門
Mei-Po Kwan	Prof., Department of Geography, The Ohio State University	地理学

7. セミナー概要（セミナーの目的・内容・成果等を簡潔に記載してください。）

【研究目的】 日本では少子高齢化が進んでいると同時に、総人口が減少する時代に入った。日本社会の発展にとって今後、女性（特に結婚女性）の社会進出を支援する社会的な仕組みの整備が益々重要になってくる。一方、オランダでは、高齢者は現在全人口の10%強であるが、20数年後に2倍になると推計されている。定年は65歳であるが、早く引退する人も多く、将来、深刻な労働力不足が懸念されている。このようなこともあって、女性の社会進出が進んでいるオランダでも、それを一層促進することが社会的に求められている。このような背景のもとで、本研究では、女性の社会進出の進展が都市システムにどのような影響を及ぼすか、都市システムの視点からどのような支援が効果的であるかについて、女性の社会進出先進国であるオランダと、それが遅れている日本との比較を通じて、オランダの経験を活かした今後の日本都市システムのあり方、女性の社会進出を次の発展ステージに向けて推し進めようとするオランダでは今、何をしようとしているか、今後何をすべきかについて都市・交通の視点から検証する。

【研究内容】 女性の社会進出は、その仕事の頻度と労働時間の増大を意味する。その結果、家事、世帯活動や子供の送迎などを遂行することが難しくなると考えられる。そこで、世帯内での男女の役割分担、仕事や余暇などの生活時間の利用、自動車の保有・利用、子供やほかの構成員の活動スケジュールリング行動、情報通信デバイスの保有・利用と活動スケジュールリングとの関係などについて研究する。その結果、女性の社会進出の障害となっている世帯内での男女間の伝統的な役割分担を打破するために、家庭内でそれぞれの活動スケジュールをどう調整し、そして、都市・交通政策の視点からどのように女性の社会進出を効果的に支援できるかを明らかにする。

【研究成果】 セミナーには約40名の参加者が出席した。セミナーには、まず、総務省統計局統計調査部労働人口統計室統計専門官に基調講演をしてもらい、日本における就業女性の生活時間、女性就業の障害（長時間労働、託児所、育児休業制度、パート労働者の待遇など）、日本の関連政策として前述の障害を解消する対策、オランダの短時間労働者への差別待遇の禁止施策、日本の現状の女性の社会参加諸問題に係る歴史的な背景について考察がなされた。日本での女性の社会進出を促進するために、需要変化への柔軟性と従業員保護を両立する試みとしてオランダ的短時間正社員制度の導入が必要であると結論づけられた。オランダユトレヒト大学地理学の教授は情報通信技術（ICT）が男女のワークライフバランスに与える影響、ICT利用下における時間的・空間的な労働の断片化の男女の差異についてオランダのデータを用いて分析した。オランダ側の研究として、活動・移動パターンにおけるオランダの男女の役割、子供の有無による夫婦の時間利用パターン・夫婦間相互作用・影響要因に関する発表があった。日本側の研究としては、子育てと女性の活動参加、女性の社会進出が交通行動に与える影響、女性の長期的な時間利用パターンとその影響要因に関する発表があった。さらに、女性の社会進出における行動分析ツールとして、行動の変動を捉える方法論、異なる行動要素間の相関を表現する方法論、活動パターン間の類似性を評価する方法論、意思決定メカニズム、自動車保有行動などの関連研究の発表が行われた。セミナーを通じて期待した日蘭研究者の交流の成果を得た。特に、半数弱の参加者は博士コース学生であり、若手研究者に貴重な勉強機会を提供でき、その育成に貢献したと言える。